

講座紹介

講座名	「衛星の運用を体験しよう」	
内容	<p>小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還はわくわくしましたね！ 探査機や人工衛星を活用するためには、地上で衛星をコントロールしたり、衛星のデータを受信したりする地上システムが必要です。しかし、宇宙にいる衛星と通信するには、衛星の姿勢を調整したり、衛星が上空にいる限られた時間の中でコマンドを送ったりなど、たくさんの難しい作業が求められます。この講座では地上システムを担当するエンジニアが、あるおもちゃを使って、その運用方法を楽しく皆さんに伝えます。お楽しみに！</p>	
日 ち	<p>1回目：2020年12月26日（土） 2回目：2021年1月11日（月）</p>	
時 間	14:00～（講座は約40分）	
対 象	<p>1回目：小学校高学年～中学生（推奨） 2回目：中学生～高校生（推奨）</p>	
定 員	18席	
講 座 料	無料（展覧会へご入場されている方が対象です。講座のみは受けられません。）	
参 加 方 法	<p>事前予約制 ※ 予約フォームから事前にお申込みをお願いします。 ※ 新型コロナウイルス感染予防のため、当日はマスク着用、手指の消毒のご協力をお願いいたします。講座の前に検温をさせていただきます。体調のすぐれない方はご来場をお控えください。</p>	
講 師	<p>(株) QPS 研究所 研究員 李 充根</p>	
プロフィール		<p>福岡大学大学院工学研究電子情報工学専攻 修士修了。 高度情報化社会の基盤技術であるシステムLSI技術の研究開発、アジア市場向けのソフトウェア開発等を経てQPS研究所に入社。現在は、衛星内のソフトウェア開発を担当している。</p>